

地域の **災害対応力** を 高めるために ～輪島の取組に聴く～

地域の災害対応力…。私たちの暮らす地域では災害時にどのように対応するのでしょうか。
「支えられる側」「支える側」、両方の立場で想像することの必要性を感じています。

今年度は、令和6年能登半島地震の際に「災害関連死を出したくない」と輪島の町を歩き、被災者の方々に寄り添い、見守り活動をされてきた公益社団法人青年海外協力協会（JOCA）事務局長の堀田さんをお迎えします。

現地での活動を通して、被災された方・被災地への思いと「今」を語っていただき、「地域の災害対応力」について学びあいたいと考えています。

また、堀田さんのお話から、私たちが今後活動する際に必要な視点やノウハウを学びあいます。

復興期にある輪島の状況、コミュニティベースと呼ばれている地域拠点についてもお話しいたします。

2026

9/26 土

13:30~16:30

参加費

無料

定員

60名(先着順)

場所

みえ県民交流センター 交流スペース
(三重県津市羽所町700番地 アスト津3階)

対象

県民、NPO、地域団体、社会福祉協議会、行政の方
どなたでも

プログラム

13:00 受付

あいさつ 主旨説明

13:30 三重県の災害支援活動に
関する情報共有

13:45 ゲスト講演

14:50 休憩

15:00 フロアトークセッション

16:00 振り返り・閉会

ゲスト

堀田 直揮さん

公益社団法人青年海外協力協会（JOCA）常務理事・事務局長



1998年度JICA海外協力隊としてジンバブエに派遣。
帰国後は協力隊の経験を生かし、JOCA職員として地方創生や
地域福祉、共生のまちづくりなどに取り組む。
令和6年能登半島地震では、輪島市の被災者見守り相談支援事
業の総括責任者として、災害ケースマネジメントやコミュニ
ティ支援、コミセン*の運営を推進。災害関連死を防ぐための
地域づくりや、平時からの福祉と防災を一体化した支援の実
践に取り組んでいる。

*コミセン…災害見守り拠点と福祉施設が合体。困ったことにワンストップで対応するみんな
のBASE-基地-（社会福祉法人佛子園 <https://bussien.com/comisen/>）

お申し込み

右の二次元コードよりお申し込みください。

（Googleフォームが開きます）

※フォームでのお申し込みが難しい場合は、当センターまで
お問合せください。



主催・問合せ：みえ市民活動ボランティアセンター

〒514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階

☎ 059-222-5995

✉ center@mienpo.net

☎ 059-222-5971

🌐 <http://www.mienpo.net>